

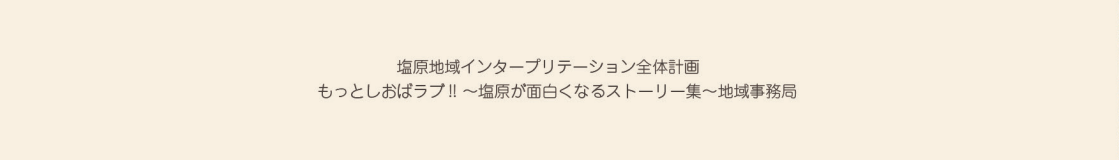


もっと しおばラブ!!

“MOTTO” ShiobaLOVE

～塩原が面白くなるストーリー集～

塩原地域インタープリテーション全体計画
 もっとしおばラブ!! ～塩原が面白くなるストーリー集～地域事務局



塩原地域インタープリテーション全体計画
 もっとしおばラブ!! ～塩原が面白くなるストーリー集～地域事務局

私たちの「しおばラブ」を物語に乗せて

この一冊に詰め込んだのは、単なる観光情報の羅列ではありません。1200年前から湧き続ける元湯の熱い源泉、山津波を乗り越えてきた先人たちの祈り、文豪が涙した渓谷の美しさ、そして、朝霧の中で大切に育てられた高原野菜の甘み。それらすべてが、私たちが愛してやまない「塩原の日常」という名の物語です。しかし、これらの「宝物」は、ただ置いてあるだけでは、通り過ぎる風景の一部になってしまいます。「ここが塩原の始まりの場所なんですよ」「この紅葉は、かつての旅館主たちが手作業で育てたものなんです」その一言が添えられた瞬間、お客様の目の前の景色は、一生忘れられない「感動の体験」へと変わります。この「風景」を「体験」へと変換する魔法、それこそが私たちの目指すインタープリテーションです。

インタープリテーションは 地域の総力戦

インタープリテーションは、決してガイドだけの専門技術ではありません。日光国立公園・塩原エリアを訪れる多くの方々。そのすべての方にガイドが寄り添うことはできません。ですが、フロントで鍵を渡すとき、飲食店で料理を運ぶとき、直売所で野菜を袋に詰めるとき、あるいは交通機関で切符を確認するとき。皆様がお客様と接するその一分一秒が、塩原の魅力を伝える最高のチャンスです。今はバラバラに語られている地域の物語を、ひとつの大きな力に変えていきましょう。本書はそのための「共通言語」です。地域みんなで同じ方向を向き、それぞれの言葉で「しおばラブ」を語り始める。その総力戦こそが、塩原のブランドを強く、深く育てていきます。

本書は 共に育つ「インタープリテーションの道具」

タイトルに込めた「もっとしおばラブ!」という言葉には、お客様はもちろん、私たち自身ももっとこの街を深く知り、誇りに思いたいという願いを込めました。この冊子は、完成版ではありません。接客のヒントにしたり、新しいお土産のアイデアにしたり、社内研修のテキストにしたりと、皆様の本業の中で使い倒してください。そして「もっとこう伝えたいほうがいい」「こんな隠れた物語もある」という声を、どんどん私たちに届けてください。皆様のフィードバックが、このストーリー集をより強く、より魅力的な「次の一手」へと進化させます。塩原の魅力は、移動の速さではなく「滞在の深さ」にあります。歩くことで見えるもの、立ち止まることで感じるもの、語り合うことで深まるもの。私たちのインタープリテーションは、まだ始まったばかりです。何度でも、何世代にもわたって、世界中から「あの物語の続きを体験したい」と人々が訪れる。そんな塩原の未来を、今日ここから、皆さまと共に創り上げていけることを願っています。

「塩原地域インタープリテーション全体計画」地域事務局 一同

インタープリテーションとは? 塩原のホンモノを分かち合う魔法

楽しくて 心がつながるコミュニケーション

インタープリテーションを直訳すると「翻訳」や「解釈」ですが、観光の現場では「地域の価値をわかりやすく伝え、お客様と地域の絆を深めること」を指します。それは、一方的な「お勉強」ではありません。お客様が楽しみながら「へー! (ふむふむすること)」「すごい! (Wowと感ずること)」と感じ、塩原という場所を大好きになってもらうための、温かなコミュニケーションです。

「塩原らしさ」を探求し 共有する

お客様は、どこにでもあるものではなく「塩原にしかないホンモノ (その場所らしさ)」を求めてやってきます。

文豪が愛した
この宿の静けさ

火山灰が育てた
このカブの甘さ

1200年前から続く
この湯の香り

これら「塩原ならではの魅力」を掘り起こし、お客様と分かち合うこと。それが観光の質を高め、「また塩原に来たい」という満足度につながります。

基本はシンプル 「ストーリー」と「体験」を掛け合わせる

インタープリテーションのアプローチは、たった2つの要素を組み合わせるだけです。「ストーリー」と「体験」です。この2つが重なると、思い出はもっと深くなる。例えば、ただ「温泉に入る」という体験に、「山津波から奇跡的に復活したお湯」というストーリーが加わったらどうでしょう? その入浴は、お客様にとって一生忘れられない特別な儀式に変わるはずです。

あらゆる場所が インタープリテーションの舞台

インタープリテーションは、専門のガイドだけが行うものではありません。

- ✓ ホテルのフロントで ⇒ 周辺の散策ルートを教える
- ✓ お土産屋さんの店頭で ⇒ 野菜の美味しい食べ方や土壌の話をする
- ✓ 飲食店で ⇒ スープ入り焼そばの歴史をちょっと話してみる
- ✓ パンフレットや看板で ⇒ 写真一枚、言葉ひとつに想いを込める

地域みんなが「塩原らしさ」を大枠で共有していれば、街のどこを歩いても最高の物語に出会える。そんな「総力戦」で、お客様をお迎えしましょう。

IPチェックリスト & ワークショップ

IP (インタープリテーション)

自分の「しおばラブ」を見つけよう!

インタープリテーションは、あなたの「好き」をお客様に分かち合うことから始まります。まずは以下のチェックリストで、自分ができることを確認してみましょう。

- レベル①** お客様に「今日のおすすめの景色（天気や空気感）」を1つ伝えた
- レベル②** 料理や商品の説明に「塩原ならではの背景（歴史やこだわり）」を一言添えた
- レベル③** お客様の「どこか良い場所ある?」という問いに、自分の「お気に入りスポット」を理由付きで答えた
- レベル④** 本書（ストーリー集）のネタを使って、お客様を「へえ〜!」と驚かせた

実践
練習

ストーリーを「翻訳」してみよう!

本書にある「事実」に、あなたの「想い」を乗せて、お客様に伝える練習です。

練習問題①：お土産屋さん・飲食店編

事実（ストーリー） 「塩原のカブは、火山灰土壌で寒暖差があるから甘い」

あなたの伝え方（インタープリテーション） 「このカブ、実はフルーツみたいに甘いんですよ。塩原の火山の恵み（火山灰）がギュッと詰まった、今の時期だけの宝物なんです。ぜひそのまま食べてみてください!」

練習問題②：宿泊施設・フロント編

事実（ストーリー） 「紅の吊橋のモミジは、昭和40年代に旅館主たちが手作業で植え、育てた」

あなたの伝え方（インタープリテーション） 「あそこの紅葉、綺麗ですよ。実は数十年前に、この街の人たちが『いつかお客様に最高の景色を見てほしい』って、自分たちで一本ずつ植えたものなんです。そう思うと、もっと綺麗に見えませんか?」

あなたの「しおばラブ」を書いてみよう

本書を読んで気になったストーリーや、あなたが普段から「いいな」と思っている塩原の魅力を、ひとつだけ書き出してみましょう。

伝えたい塩原の魅力 例：元湯の独特な温泉の匂い、冬のハンターマウンテンの静寂など

お客様への「一言」 例：「この匂い、温泉成分が濃い証拠なんです。これぞホンモノの秘湯ですよ!」

Point 正解はありません。あなたが「面白い!」と思ったその熱量が、お客様にとって一番のインタープリテーションになります。

もくじ

Howto

プロローグ	p.02
インタープリテーションとは	p.03
IPチェックリスト&ワークショップ	p.04
塩原温泉の3つのストーリー	p.06
あなたなりのストーリーをつくろう	p.07

Map

塩原温泉郷MAP	p.08
----------	------

Area Story

元湯エリアストーリー（塩原温泉の始まりは元湯温泉）	p.10
新湯エリアストーリー（新鮮な温泉は火山活動の恵み）	p.12
上塩原・中塩原エリアストーリー（里山としての塩原温泉）	p.14
古町・門前エリアストーリー （まぢめぐりは、文豪たちの作品が生まれた背景の追体験）	p.16
畑下エリアストーリー（塩原温泉の始まりは元湯温泉）	p.18
塩の湯・塩釜エリアストーリー （にぎわいも静けさも受けとめてきた溪谷の温泉地）	p.20
福渡エリアストーリー（御用邸とともに育まれた保養の温泉地）	p.22
大網・関谷エリアストーリー （歩き、動き、景色に触れる温泉地の入口）	p.24

Recommended

おすすめコース①	p.26
おすすめコース②	p.28
おすすめコース③	p.30
おすすめコース④	p.32

Must-Try

塩原エリアで体験してもらいたい13の体験	p.34
----------------------	------

Others

インフォメーション（関連URL）	p.36
奥付	p.37

塩原温泉の 3つのストーリー

Three Stories

01

**火山が生んだ恵みが
温泉地の基盤を形作ってきた**

火山活動によって生まれた温泉、渓谷、地質、そして高原野菜などの自然資源が、塩原温泉の基盤を形づくっている。

02

**交通の発達が
温泉の「過ごし方」を変えてきた**

会津西街道の往来に始まり、塩原新道の完成、鉄道やバスの整備を経て、湯治から社交、そして癒しの滞在へと、その時代のニーズに応じて温泉地の役割は変化してきた。

03

風の人と土の人が文化を重ねてきた

良質の湯に癒しを求めて訪れた人々（風の人）と、山間に暮らし湯を守り続けてきた人々（土の人）の関わりが、芸術や祭礼、おもてなしの文化を育んできた。

あなたなりの
ストーリー

を作ろう

Find Your Story

04

05

MEMO



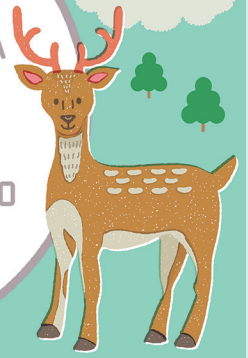
塩原

SHIOBARA

温泉郷

ONSENKYO

MAP



SHIOBARA ONSEN ILLUSTRATION MAP

至八方ヶ原・矢板
To Hoppogahara / Yabu

至仙台
To Sendai

至東京
To Tokyo

至那須
To Nasu

至鬼怒川・日光
To Kinugawa / Nikko

至浅草
To Asakusa

至鬼怒川・日光
To Kinugawa / Nikko

至浅草
To Asakusa

至浅草
To Asakusa

至浅草
To Asakusa

元湯エリア

What's **MOTOYU?**

注目のスポット

INFOMATION

山津波を免れた貴重な源泉!



1

塩原温泉最古の湯

塩原温泉の起源は平安時代の大同元年(806)に遡り、如葛仙(によかつせん)という僧侶によって元湯温泉が発見されたと云われています。(※諸説あり)その最古の湯である源泉は(ゑびすや・元泉館所有)現在も大切に受け継がれ、毎年9月末に行われる古式湯まつりの際には各地区へと分湯されます。



当時の賑わいを伝える地図



元湯温泉(塩原温泉郷)



2

元湯千軒

江戸時代には宇都宮藩の湯治場として重宝され、会津西街道沿いの宿場として栄えました。当時は村の半数以上である約50戸が旅館であったことから、その賑わいは「元湯千軒」と評されるほどであったといえます。胃腸や傷などをはじめ様々な効能に優れた名湯と評され、多くの人々が湯治に訪れていました。

STORY

塩原温泉の始まりは元湯温泉

箒川の支流である赤川渓谷の上流に位置し、曲がりくねった山道を上り下りしてようやくたどり着くことのできる、秘湯という言葉がぴったりの温泉場です。

ここが塩原温泉発祥の地。大同元年(806)に発見されてから、千二百年の歴史を今日まで繋いでいます。当時は湯本村と呼ばれていましたが、万治2年の山津波によって壊滅的な被害を受け、住民が移り住んだ新天地を「新湯(あらゆ)」と呼んだことから「元湯(もとゆ)」という地名になりました。

山津波により元湯→新湯に移った



3

歴史を変えた山津波

沢山の湯治客で賑わっていた元湯温泉ですが、万治2年(1659)の山津波によって村のほとんどが土砂に埋まってしまうほどの壊滅的な被害を受けることとなりました。人々は村を離れて移動せざるを得ませんでした。新湯などの新天地で生活を始めました。山津波を

免れたものや復活した源泉もあり、現在は明治・大正時代から続く数件の旅館がそれぞれ個性豊かな源泉と歴史を大切に守り続けています。

4

古式湯まつり

山津波によって途絶えてしまった元湯の温泉ですが、住民たちの必死の祈りによって復活したと云われています。この言い伝えから、塩原温泉では温泉の恵みに感謝する祭事として「古式湯まつり」を行い、昭和38年からは分湯行列によって御神湯(ごしんとう)を各町内に運ぶ現在のスタイルとなりました。祭事は元湯温泉で源泉を汲む所から始まり、御祈禱を捧げたお湯を各地区に分配する分湯式(ぶんとうしき)では、地元学生も行列や巫女舞の舞姫として参加します。



地元学生や保存会によって脈々と受け継がれている浦安の舞(巫女舞)



あらゆ

新湯エリア

What's ARAJU?

注目のスポット
INFOMATION

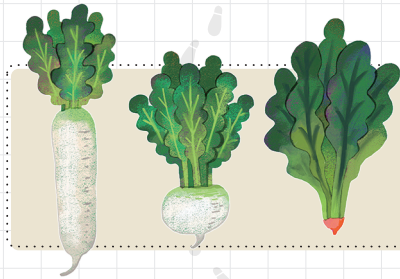
1 爆裂火口

新湯温泉を象徴する景色、それは硫黄の香りと共に噴煙が上がる爆裂火口です。かつての火山活動によって地下の熱と水が一気に噴き出したことで生まれた火口跡で、今も地面からはガスや水蒸気が立ちのぼっているため迫力を間近に感じることができます。日塩もみじラインを上っていくと、噴煙と共に温泉場らしい硫黄の香りが漂い始め、温泉情緒に溢れた地域となっています。



斜面に見える小屋は「湯の花」の採取場!

火山活動の恵みは他にも...



火山活動の恩恵は温泉だけじゃない! 水はけの良い火山灰土壌でのびのびと育った大根やかぶは歯触りが滑らかで柔らかく、高原ならではの寒暖差によって甘味を蓄えた逸品!



2 特色あるにごり湯

爆裂火口から湧出する温泉は塩原温泉でも数少ない硫黄泉。高濃度の硫黄泉なのに他の温泉地と比べると比較的酸性度が低いために湯あたりも優しく、ピリピリしにくい特徴があります。各旅館では鮮度の高いにごり湯を源泉かけ流しで楽しむことができるため、秘湯や温泉好きの方々に根強い人気があります。

STORY 新鮮な温泉は火山活動の恵み

万治二年の山津波によって元湯の地を追われた住民が再起を決して開いた温泉場であることから新湯(あらゆ)の名が付いたと云われており、現在も湯治場風情の残るこの温泉地では数軒の旅館によって良質な源泉が守られています。この地の特徴はなんといっても噴煙のぼる爆裂火口と硫黄の香りが漂う景色、そして塩原温泉の中でも、元湯と並んで硫黄泉が湧く数少ないエリアです。日光と塩原を結ぶ約28kmに渡って結ぶ県道19号線、通称日塩(にちえん)もみじラインの中腹、標高900m付近に位置し、紅葉時期に景観の美しいドライブコースとして、そして高原野菜の産地としても人気です。

3 共同浴場文化

塩原温泉では各地区に共同浴場があり、お風呂がない家庭も多いのが特徴です。清掃や管理も自治体によって行われており、共同浴場を介してしばしば顔を合わせるため、重要な交流の場としての役割を担ってきました。混浴の共同浴場が大半を占めますが、小さい頃から利用している住民にとっては身近な文化となっています。(※一部地区では集中管理によって各家庭に配湯)



4 温泉信仰

各地区ごとに温泉神社があり、各自治会によって例祭などが行われています。古いものだと江戸時代初期に創建されたものもあるため格式高い雰囲気も漂い、温泉街の歴史を物語る風景ともいえます。山津波によって一度お湯が途絶えてしまったという謂れからも、温泉の恵みに感謝し、更なる繁栄を祈る心が住民に根付いています。



新湯温泉神社

平安時代末期に元湯の地に創建された温泉神社は、万治2年(1659)の大地震により村全体が壊滅的被害を受けた後、新湯に移り住んだ住民たちによって、ご神体や石幢、石段、鳥居が遷座されました。現在も守り神として静かに新湯温泉を見守っています。



上塩原・中塩原エリア

What's KAMISHIOBARA and NAKASHIOBARA?

注目のスポット INFOMATION

1 塩原八幡宮

この地域の氏神様であり、樹齢1500年の夫婦杉が地面に向かって枝を伸ばす「逆杉（さかさすぎ）」が鎮座する塩原温泉きってのパワースポット。夫婦円満や勝利祈願の御利益があると云われています。毎年9月15日に行われる例祭では県の無形民俗文化財にも指定された塩原平家獅子舞や、地元生徒らによる巫女の奉納が行われ、日々その文化が継承されています。

ここから空を大きく見上げた時の、木々と空と光が共鳴する姿も美しい!



2 源有綱 ゆかりの地?

みなもとのありつな

塩原八幡宮の境内には源三窟（※古町地区参照）に隠れ住んでいた源有綱を祀った有綱神社があり、その御他界の地（御他界地）が由来とされている「小田ヶ市（こたがいち）」、死後に明神様として祀られていたことを物語る「明神」の地名が現在も残っています!

STORY 里山としての塩原温泉

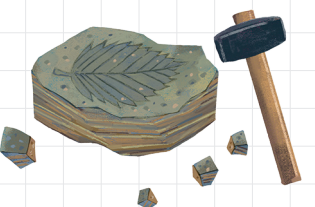
会津方面の玄関口である上・中塩原は古くから林業や農業が盛んでしたが、昭和59年の温泉集中管理事業によって旅館が誕生し始めた比較的新しい温泉地でもあります。伝説が結び付いた地名や伝承文化が色濃く残り、かぶや大根の生産も盛んな他、渓流釣りを楽しむ人にも人気のスポットです。山の恵みと川の恵みが生活に根付いた暮らしが現在も営まれています。

3 木の葉化石園



温泉街一帯が30万年前まで湖の底であったことを物語る塩原湖成層。そこから採掘された保存状態の良い動植物の化石をはじめ、世界中から集められた珍しい鉱石や奇岩、恐竜の卵の化石など、驚くほど多くの展示を見ることが出来ます。館内では化石割体験ができる他、化石や誕生石などのお土産も充実しているのもポイントです。

産毛まで確認できるほどの綺麗な化石は必見!



4 塩原かぶと塩原大根

自然豊かな一方で山間部に位置するために米などは育ちにくく、古くは稗や粟といった穀物の栽培が盛んに行われてきました。現在は時代の変化に合わせ、より需要の高い高原野菜の産地として発展し、品質向上に向けた取り組みが日々重ねられています。

5 甚五焼

じんごやき

山の形に整えて握った白米に、えごまで作った甘じょっぱいジウネ味噌をたっぷり付けて炭火で香ばしく焼いた料理です。現在はみやじま釣堀園で食べることができます。かつて林業に従事することが多かった上塩原地区の人々が、山の恵みに感謝して神様にお供えていた伝統料理です。

炭火で焼いたフワフワの鱒も絶品!



みやじま釣堀園

古町・門前エリア

What's FURUMACHI and MONZEN?

STORY

まちめぐりは、文豪たちの作品が生まれた背景の追体験

塩原温泉を語るとき、まず押さえるべき場所が古町・門前エリアです。ここは単なる温泉街の中心ではありません。様々な文人墨客が滞在した宿や名所が点在し、後に作品や日記としてその情景が描かれた場所でもあるのです。明治17年の塩原新道の完成、御用邸の誕生、明治華族たちの別荘ブームを経て、多くの文人が静けさや癒しを求めてこの地にやってきましたが、現在のまちを歩けば、文豪たちが生きた時代や人となりを追体験できる温泉地となるのです。

注目のスポット INFOMATION

1 まちめぐり案内人

ボランティアで構成されているまちめぐり案内人は、風景と歴史を結びつける語り手です。文学碑であれば作者がなぜ滞在し、どのように過ごしたのかといったストーリーを伝えてくれるため、ツアーの参加者は文豪が生きたその時代を追体験するような感覚を味わうことができます。ツアー参加者からは、様々な理由で塩原温泉に惹かれた案内人自身の人柄も魅力的だったという声が多数聞かれ、満足度の高い滞在時間を提供しています。



どんな出会いから塩原温泉に惹かれ、この活動をしているのかといったガイドさん自身のエピソードも興味深い！

まるで自分達が文学碑の中に入ったような写真も撮れます！



長谷川かな女 歌碑



古町・門前エリア

2 文学碑

古町・門前エリアに点在する文学碑は十数基に及び、文学研究会をはじめ地域の人々が、文人ゆかりの場所へ時間をかけて建立してきたものです。碑は文豪がこの地で何を見て、何を感じ、どのように過ごしたのかを読み解く手がかりでもあります。まちを歩きながら作品と風景を重ねることで、当時の滞在風景が浮かび、塩原温泉が作品の舞台であったことを実感できる入口となります。知識を深めるなら塩原もの語り館へ！

もう一つのご当地グルメ？！
ぼてじゆ 母手寿もおすすめ！



とて焼

温泉街を代表する観光名物「トテ馬車」は古町県営駐車場を拠点に発着していました。トテ馬車の御者（運転手）が使っていたラップを模して創られたのがもう一つのご当地グルメ「とて焼」です。今井屋製菓、多助そば湯津上屋、塩原もの語り館など10店舗以上で食べることができます！

3 酒呑み与助の墓



妙雲寺の参道にひっそりと建つのは、桃林舎枕石による狂歌の碑。

よ はや のが ひと とくり いま じょうど ごしろう のみ
「世を早く逃れたる人ぞ徳利なれ 今は浄土で後生らく飲」

ここでは人物の正確な史実以上に、当時の人々の生き方や価値観を感じ取ってもらうことが大切です。塩原には、偉人の顕彰だけでなく庶民の人生を愛おしむ文化が残っています。文人がこの土地に親近感を抱いた理由も、こうした人間味にあります。

おちよとつくり 猪口と徳利を模した墓石もユニーク！ 酒好きなら共感できる？

4 塩原グルメの役割

食事は休憩ではなく、滞在の続きです。文人たちもまた、土地の食を通じて人と関係を築きました。ご当地グルメは名物紹介ではなく「この土地の暮らしの一部を味わう行為」として案内すると、来訪者は観光客から滞在者へと意識が変わります。

スープ入り焼そば

塩原温泉のご当地グルメと言えば「スープ入り焼そば」！ソースで香ばしく炒めたキャベツと中華麺をラーメンスープでいただく、地域住民のソルフード。まるやかで甘めのスープの「こばや食堂」は豚肉、胡椒が効いたスパイシーな「釜彦」は鶏肉を使用といった違いがあり、地元でも人気を二分するほどなので食べ比べがおすすめです！



畑下エリア

What's HATAORI?

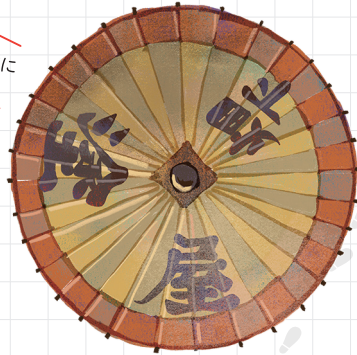
注目のスポット

INFOMATION

1 ぬりやの傘

塩原新道の開通前は会津西街道の往来が主要でした。その分岐点でもあった畑下地区には、旅館から様々な修理の依頼を受けた大工や建具屋、漆塗りの職人などが長期滞在していました。塗り職人が多く滞在した「ぬりや旅館」はまさに、当時の呼び名がそのまま屋号として残っています。

実物は塩原もの語り館に展示されています!



畑下エリア

2 はたおり 庚申の庚申塔

庚申の日、体の中の悪い虫が日頃の悪行を閻魔様に告げ口すると信じられており、それを防ぐためにこの塔に集まって夜通し宴会をするという民間信仰が日本全国にありました。

この石塔は全国にある庚申塔と同じように旅人たちへの道しるべとしても利用されており、右には「古町」、左には「須巻」とそれぞれの行き先が示されています。

道標と庚申信仰を伝える石塔



STORY

歴史と文化が息づく、坂道の里

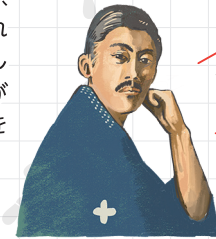
“畑の下”と書いて“はたおり”と読むこの地区は、箒川に沿って大きく湾曲する坂道が特徴的な地区です。現在の湯つ歩の里付近にはかつて棚田が広がっており、その南側（下）に位置することに由来している等、地名の由来には所説あります。小さな地区ですが、実は歴史と文化がギュッと詰め込まれたエリアです！室町時代には館（離室城）があり、江戸時代には職人宿があり、明治天皇御生母(中山一位局)の別荘があり、金色夜叉の舞台にもなり、昭和の広重と謳われた川瀬巴水が版画に描いた地でもあります。

3 せいきんろう おざきこうよう 清琴楼と尾崎紅葉



明治後期に新聞掲載で人気を博した『金色夜叉』。熱海の海岸での貫一とお宮のシーンが有名ですが、物語の終盤には塩原温泉が登場します。作者の尾崎紅葉は実際に塩原温泉を訪れており、その際に作品の構想を練ったと考えられています。

作中には溪谷美などの風景も織り込まれたことで塩原温泉の名は一躍有名となり、その後多くの文人が訪れるきっかけとなりました。また、作中に“架空の宿”として登場した「清琴楼」は、当時畑下にあった佐野屋がモデルと云われ、佐野屋はのちに紅葉の遺族の許可を経て清琴楼と改名された経緯があります。



『金色夜叉』終盤に描かれた塩原!

おざきこうよう 尾崎紅葉 (1868年~1903年)

4 山ゆりの吊橋



長さ約54m・幅1.5m、平成16年(2004年)に完成した塩原温泉で一番新しい吊橋です。

『金色夜叉』の作中で傷心の主人公貫一が人間復活を遂げて行く場面として山百合の花をお宮に重ねる印象的なシーンがあり、この名が付いています。

また、明治天皇御生母別荘や大正天皇の御用邸があったことから皇室ゆかりの地でもあり、かつて皇居にかけられていた「山里の吊橋」をモチーフとした造りになっています。

ちょっと寄り道 /

塩原温泉には弘法大師空海が不動尊を建立したという言い伝えがあります。昭和期には川崎大師厄除不動尊が再建され、現在も例祭が行われています。信仰と温泉地の歴史が結びつき、受け継がれてきたことを示す一例です。



塩の湯・塩釜エリア

What's SHIONOYU and SHIOGAMA?

注目のスポット

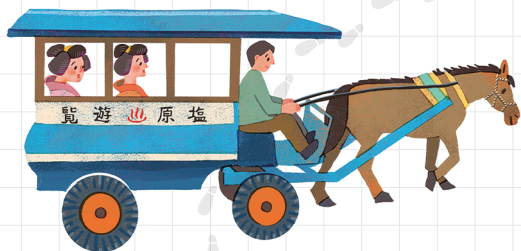
INFOMATION

1 宴会

昭和期の温泉地では団体旅行の普及により滞在は賑やかな宴会を中心に構成され、大広間での食事や歓談を行う形態が一般的となっていました。塩原温泉も団樂の場として団体客で賑わう温泉街へと急成長していきました。現在は旅行形態の変化により半個室などのプライベートな過ごし方が広がり、癒しを重視する利用へと移行していますが、明賀屋本館の太古館などでは当時の栄華を垣間見ることができます。

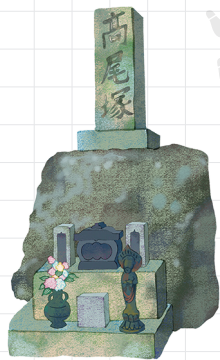


昭和初期の宴会風景



2 芸者文化とトテ馬車

団体旅行の広がりとともに塩釜地区には宴会を支える多くの芸者が集まり、置屋街としての賑わいが形づくられていきました。明治期に駅と温泉街を結ぶ交通手段として生まれたトテ馬車は、来訪者だけでなく芸者や住民を運ぶ乗合バスのような役割も担い、昭和の最盛期を象徴する風景となりました。国営バスの普及後は遊覧馬車へと姿を変え、蹄の音と共に長らく温泉街を象徴する姿として受け継がれてきました。時代による滞在型の変遷が温泉街の価値を形づくっているのです。



3 高尾太夫

塩釜地区に佇む高尾塚は、塩原出身で江戸吉原の名妓となった「高尾太夫」の功績を今に伝える碑です。19歳でこの世を去ってから400年近い時が経った今も、塩原高尾は人を惹きつける魅力を持っています。

湯の香、恋しゅう
なりましたら塩原へ。



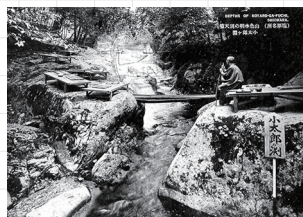
STORY

にぎわいも静けさも受けとめてきた 渓谷の温泉地

塩の湯・塩釜は、渓谷沿いから山間へと広がるエリアです。かつては心身を休める静養の地として親しまれてきましたが、交通網の発達により来訪者が増え、昭和期には団体旅行と宴会文化の広がりを背景に大きな賑わいを見せます。湯治場がやがて団樂やもてなしの場となり、時代の変遷とともに温泉街の姿を形づくっていきました。現在は再び穏やかな自然の中で湯そのものを味わう過ごし方が重宝され、異なる時代の滞在のかたが重なって残っています。ここは、温泉街の歩みを今に伝える場所です。

この地に語り継がれるのは華やかな歴史だけではなく、記憶に残る人物の物語を受け止め続けてきた歴史でもあります。湯治の静けさと往時の賑わいが重なる塩原温泉のなかで、高尾塚は人の想いと土地の記憶が結びつく象徴として、温泉地の物語の一端を今に伝えています。

今も昔も変わらない風景!



塩の湯・塩釜エリア

4 小太郎茶屋

小太郎茶屋は古くから旅人の休み処として親しまれてきました。渓谷の深い地形に囲まれた景勝地で、人々は歩みを止めて川音と景色に身をゆだねてきました。ここでは目的地に急ぐのではなく、ひと息つく時間そのものが旅の楽しみとなります。こうした道中のひとときの積み重ねが、塩原温泉における「ゆっくり過ごす」滞在の文化を形づくってきました。現在は土砂災害などによって再開通の見通しが立っていない遊歩道があり、新しい歩行ルートが開発が待たれます。

ふくわた

福渡エリア

What's FUKUWATA?

注目のスポット
INFOMATION



1 塩原御用邸

福渡に置かれた御用邸は、塩原温泉が静養の地として選ばれてきた歴史を物語ります。明治期、栃木県令三島通庸により温泉街までの交通網が整備されました。畑下地区に明治天皇の御生母・中山慶子の実家である中山侯爵家の別荘があり、これが契機となって嘉仁皇太子（後の大正天皇）が訪れます。やがて塩原を気に入った皇太子に対し、三島通庸の長男弥太郎が別荘を献上したことで御用邸が設けられ、保養地としての評価が高まりました。現在は御座所が移築保管され「天皇の間記念公園」として温泉地の歩みを今に伝えています。

福渡に置かれた御用邸は、塩原温泉が静養の地として選ばれてきた歴史を物語ります。明治期、栃木県令三島通庸により温泉街までの交通網が整備されました。畑下地区に明治天皇の御生母・中山慶子の実家である中山侯爵家の別荘があり、これが契機となって嘉仁皇太子（後の大正天皇）が訪れます。やがて塩原を気に入った皇太子に対し、三島通庸の長男弥太郎が別荘を献上したことで御用邸が設けられ、保養地としての評価が高まりました。現在は御座所が移築保管され「天皇の間記念公園」として温泉地の歩みを今に伝えています。

温泉まつり



山車を曳いて温泉街を巡る温泉まつりは、大正天皇の即位を祝って始まった行事です。八幡宮例大祭や古式湯まつりとともに、来訪者を迎えるだけでなく、地域の人々の誇りとして受け継がれてきた風景のひとつです。



三段に連なる姿が天に上る竜のよう!

2 竜化の滝

竜化の滝歩道には緑色凝灰岩に見られる柱状節理が発達し、材木を並べたように見えることから「材木岩」と呼ばれています。火山活動によって生まれた地形が景観として息づき、温泉に浸かることに加えて、渓谷を歩き名所を訪ねることも滞在の一部とされてきました。与謝野鉄幹・晶子夫妻もこの地を訪れて歌を残しており、温泉街の楽しみ方を今に伝えています。

STORY 御用邸とともに育まれた保養の温泉地

福渡は御用邸が置かれたことで静養の地としての印象を深めてきたエリアです。皇族の滞在地に選ばれたことは温泉の効能と環境の良さが認められた証として地域に受け止められ、住民にとっても誇りとして受け継がれてきました。文人たちが逗留したり、釣り、川辺の散策といった楽しみも重なり、観光地を巡る旅というより、心身を休める時間を味わう場所であることを感じさせる温泉地です。

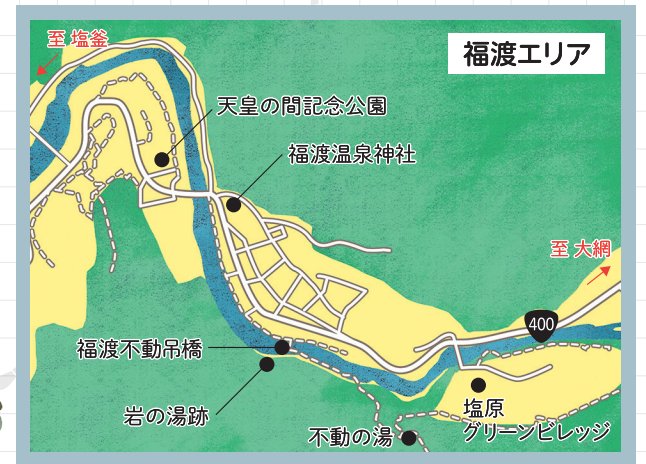


3 文豪と和泉屋旅館

和泉屋旅館は主人・泉濠太郎のもとに文人が集った宿でした。童謡で有名な野口雨情をはじめとする多くの文人墨客がこの宿に滞在し、執筆や意見交換の時間を重ねました。塩原温泉への逗留が創作の背景となり、様々な文化が育まれた場所と位置づけることができます。

野天風呂

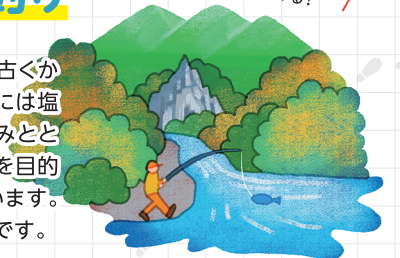
箒川沿いの野天風呂は塩原温泉を象徴する風景として人気を博してきました。川と一体となったような入浴体験はここならではの醍醐味として愛されて来ましたが、管理や風紀の問題で現在はすべて閉鎖となっており、今後の活用方法が課題として残っています。



4 箒川と渓流釣り

温泉街の中心を流れる箒川は那珂川水系の一級河川で、古くから渓流釣りが行われてきました。清流が保たれてきた背景には塩原漁業協同組合による河川環境の管理があり、自然の恵みとともに景観が守られてきました。水質の良さから現在も釣りを目的に訪れる人があり、滞在中で川辺の時間が重ねられています。箒川は温泉と自然が結びついた過ごし方を感じさせる場所です。

キャッチ&リリースは冬まで楽しめる!



大網・関谷エリア

What's OOAMI and SEKIYA?

注目のスポット

INFOMATION

1 もみじ谷大吊橋

ダム湖に架かるもみじ谷大吊橋は、景観を楽しむ場所であると同時にアクティビティの起点として利用の幅を広げています。SUP、カヌー、トレイルランニングやハイキングなどが行われ、温泉を中心とした滞在に渓谷を活かした自然体験が加わっています。遊歩道や旧道の景観保全とあわせて、歩きながら自然に関わる過ごし方がこのエリアに根づきつつあり、新しい価値の創造が日々模索されています。



※SUP…スタンドアップパドルボード



2 道の駅 湯の香しおばら



道の駅湯の香しおばらは、食と情報が集まる地域の入口として機能しています。周辺で収穫された新鮮な野菜のほか、寒ざらし蕎麦や切り干し大根まんじゅうなどの味覚は特別な観光料理ではなく、日常の食文化の延長にあります。立ち寄ることで地域の暮らしの感覚に触れ、温泉街へ向かうまでの時間が滞在の一部として位置づけられます。

STORY 歩き、動き、景色に触れる温泉地の入口

大網・関谷は温泉街の中心から少し離れ、渓谷の景観を身体的に味わう入口となるエリアです。切り立った渓谷は外界から湯治場「塩原」を守る地形でもありましたが、来訪者の増加に伴い、徒歩・人力車・馬車といった移動手段が整えられました。明治期には塩原軌道が敷かれ、大正期には電車ががま石園地付近まで延長され、多くの旅人がこの渓谷美を眼下に温泉街へと導かれてきました。昭和40年代には地元住民によるツツジやモミジの植栽が行われ、昭和52年の塩原ダム、平成11年のもみじ谷大吊橋の完成を経て、渓谷を間近に歩いて楽しむ環境が整えられました。現在は散策やアクティビティの場として利用され、自然環境を活かした新たな過ごし方が模索されています。

3 旧道の活用

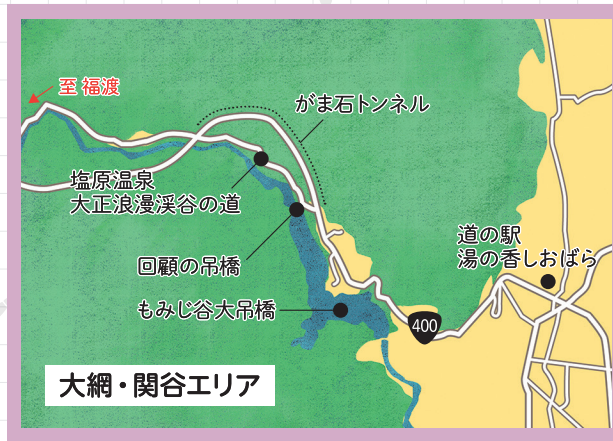


かつて往来に使われていた旧国道400号線は、現在では渓谷遊歩道や野点などの行事に活用されています。移動のための通路だった空間が、修景伐採などの保全活動によって風景そのものを味わう自然体験の場へと役割を変えつつあります。道の使われ方の変化は、温泉地における過ごし方が移動中心から体験中心へ移り変わってきたことを示しています。

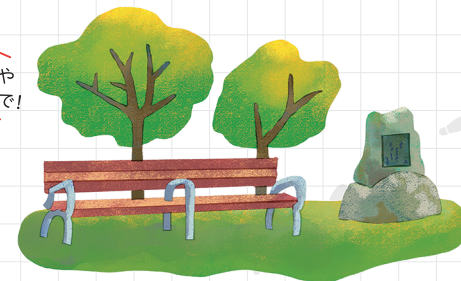
近年は不法投棄が増え、新たな課題に。ゴミ拾いや修景伐採などを行うことで抑止力を高めています。

4 ベンチと文学碑

旧道を活用した「大正浪漫渓谷の道」では、園地に置かれたベンチや文学碑が歩行散策への誘いとして機能しています。イベントでの利活用や景観の保全とあわせて、通過するだけの道路が滞在の場といった新しい位置づけとして見直されています。この風景を作品に残してきた文人たちの記憶や、先人たちの尽力によって形づくられた景観そのものを次世代へと引き継ぐ取り組みが今日も続いています。



日本最古の自然研究路や遊歩道をゆっくり楽しんで!

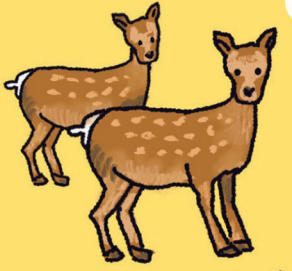


START & GOAL!!

- スケジュール
- 9:15 湯歩の里スタート
 - ↓
 - 10:05 小太郎ヶ淵
休けい・お茶
 - ↓
 - 11:15 川崎大師
 - ↓
 - 12:12 湯歩の里ゴール



ゴールのあとは
足湯でリラックス



2頭のシカに遭遇



川崎大師

おすすめコース①
～ 塩原エリア～

湯歩の里

大工にちなんだ
名前が残る
ぬりや...左官屋
いげたや...井桁屋

昔の
大工町

ぬりや

山ゆりの
吊橋

共同
浴場

いげたや

清琴楼

塩原
ビューポイント

実は近道
旧道ルート

小太郎ヶ淵

共同
浴場

橋と境に
火田下
はたふり
塩釜
しおがま



ハイイロチョッキリカ
落としたどんぐりを発見!!

シカ vs クマの
はめばり争!!?



シカのマーキング

クマの皮はぎ



休けい & おやつTIME

昔「ひえ」「あわ」が作られていた地域で、今は「塩原大根」が作られている



木公の木平

蕎麦畑
三角形の畑は川の流れのなごり



こたがいの小田ヶ市
おたがいの御世界地
有網がとれた場所と伝えられる



五色の緒
四季や肌の色など自然界の色々な要素を表現している



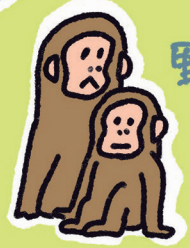
浦安の舞(巫女舞)
紀元2600年奉祝神楽舞(昭和15年)
塩原では平成元年から



逆杉大橋
塩原八幡宮
逆杉
とぎ名木百選

サカサギサイダー誕生!!

御殿山
かつては上に畑があった今は熊の生息地



野生のサルに遭遇



スーパードリ焼きそば
釜彦

塩原平家獅子舞



たじし おおじし めじし
二匹のなげ獅子と一匹の靴獅子の三角関係
弓とくわに者が勝者となる
勢いまがせの大獅子、筆を略したてて弓とくわの太獅子のストーリー

木の葉化石園

塩原湖成層から産出された化石などが展示されている

START & GOAL!!
THE DAYバス

スケジュール

- 9:25 THE DAYバススタート
- ↓
- 9:30 源三窟
- ↓
- 10:15 塩原八幡宮
- ↓
- 11:30 木公の木平
- ↓
- 12:20 THE DAYバスゴール



源三窟
土浦の戦いの後、源頼朝軍に追われた源有網(みなとのおりな)が隠れ住んでいたとされる

おすすめコース②
～中塩原エリア～



逆杉サイダー
竜化サイダー
〇〇サイダー...
地域を生かした
商品開発も進行中...!

弓を入れる武具(ラフボ)
通常は右にかけますが、せまい道
を通るため左にかけて通る事から。
昔の塩原の険しい道のなごりを
見ることが出来る。

川の上り下りが
はまると抜け出せない
危険な場所
血見ヶ淵が由来とも
言われている

お坊さんが
2人の稚児の
うち、1人だけを
かわいがり、
もう1人が悲しんで
身を投げたとも...

竜化の滝

風拳の滝

左ラフボ

稚児ヶ淵

VIEWポイント

柱状節理
火山活動にあてできる
六角形や五角形の
柱状の岩石。

布滝

箒川ダム

START & GOAL
竜化の滝馬場

布滝
観望台
(建設中)

スケジュール

- 9:40 竜化の滝 ① スタート
- ↓
- 9:55 左ラフボの険
- ↓
- 10:50 布滝観望台
- ↓
- 11:40 竜化の滝
- ↓
- 12:00 竜化の滝 ② ゴール

お茶やコーヒーなど
提供できたらステキな
スポットになりそう...

おすすめコース③
～福渡エリア～



←至塩釜

潜竜峡トンネル

至元湯

至塩原

元湯は塩原温泉

発祥の地で1806年に
発見され栄えたが、地震に
よる山津波により壊滅。
「新しく開いた湯」=新湯に
移り住んだ。

八郎ヶ原牧場

自然石研究路のVIEWポイント
から、まじりにみえる!

はじまりの湯=元湯

と

新しい湯=新湯

おすすめコース④

～新湯・元湯エリア～

19

奥塩原高原ホテル

START 徒歩
----- 車

迫力ある噴火を
超至近距離で
見ることができ、
地球のパワー
を感じる。

スケジュール

- 9:50 奥塩原高原ホテル
- ↓
- 10:25 新湯爆裂噴火跡
- ↓
- 10:55 温泉神社
- ↓
- 11:15 VIEWポイント
- ↓
- 11:50 ヨシ沼園地
- ↓
- 12:30 元湯

寺の湯

新湯爆裂噴火跡

新湯富士コース

噴火煙と上から
見おろし、周井の山々や
八郎ヶ原牧場など
見わたせる

まじりの湯

温泉源

VIEW
ポイント

冬には雪上に
たくさんの重カ物の
足跡を見ることが
できる

中の湯

開

十王堂

塩原自然石研究路

よし沼コース

新湯温泉神社

石幢
せきどう

明治期の新湯
温泉街

ヨシ沼

大沼



塩原エリアで
体験してもらいたい

13の体験

01.食 (とて焼・スープ入り焼そば・高原野菜)

約50年の歴史を誇り地元民のソウルフードでもある「スープ入り焼そば」、旧道散策の促進や震災からの復興を目的に誕生した「とて焼」の2大ご当地グルメは、各店舗毎にそれぞれの特徴があるため、食べ比べがおおすすめです！



▲塩原温泉郷
公式ホームページ

02.滝

塩原渓谷沿いには大小さまざまな滝が点在しています。漢学者 奥蘭田をはじめ、民話などをもとに名付けられた名称も興味深く、想像しながらの散策もおすすめ。ほとんどの遊歩道の先にありますので滞在時間に併せて予定を組むのがベストです。



▲塩原温泉郷
公式ホームページ

03.吊橋

塩原町時代には渓谷美を沢山の方に楽しんでいただきたいという思いから多くの吊橋が建設されました。箒川渓谷にかかる大小さまざまな吊橋から四季折々の風景をお楽しみ下さい。



▲塩原温泉郷
公式ホームページ

04.温泉

6泉質、7色の湯が東西に11km、南北に4kmにまたがる11地区に点在しています！多種多様な温泉を楽しめるだけでなく、県内の4分の1を占める源泉数があり、湯量も豊富な温泉地なのです。



▲塩原温泉郷
公式ホームページ

05.釣り

温泉街の中心を流れる箒川(ほうきがわ)は那珂川水系の一級河川。地元の漁業組合により厳しく管理保護されているため、日本でも有数の水質環境で渓流釣りを楽しむことができます。



▲塩原漁業
共同組合

06.まつり

人口減少による困難な局面にあわせて形を変え継承されている「温泉まつり」や「古式湯まつり」の他、50年の歴史を歩んできた川崎大師厄除不動尊例祭が毎年4月、7月、10月の各28日に開催され、温泉街の風物詩となっています。

07.ハイキング

温泉街周辺にはいくつかの遊歩道が設置されています。塩原温泉ビジターセンターを拠点にして散策に出かけると安心です。



▲塩原温泉アウトドア
連絡協議会



▲塩原温泉
ビジターセンター

08.アクティビティ

豊かな自然を存分に味わうアクティビティも豊富。水辺や冬の塩原も経験豊富なインストラクターやガイドと一緒に体験できます！



▲塩原温泉アウトドア
連絡協議会

09.ガイドプログラム

ビジター向けでサクッと体験できるまちめぐりツアーやvivaツアー、もっとコアな里山と体験したい方向けの里山ツアーなど、興味や体力に合わせた様々な体験があります。



▲THE DAY



▲まちめぐりツアー



▲shiohara viva

10.農業体験

中山間地域ならではの高原野菜収穫体験では、農家さんや地元の方とのふれあいを楽しむことができます。



▲THE DAY



▲shiohara viva

11.動植物の体験

温泉街を囲む豊かな自然や太古の歴史を感じる地層や化石について、今と昔の観点から観光することもできるのは塩原温泉ならではの。



▲木の業化石園



▲塩原温泉
ビジターセンター

12.冬の体験

スノーアクティビティの楽しみ方も多様化してきています。スキー場では思っきりスキーやスノーボードを楽しむほか、お子さんと雪遊びを楽しむことも可能です！



▲ハンターマウンテン
塩原



▲塩原温泉
ビジターセンター

13.歴史的な価値

塩原温泉1200年の歴史を知るならまずは塩原もの語り館へ。地域に伝わる民話を独特の語り口調で伝承している「塩原のかたりべ」もおすすめ。那須野ヶ原博物館では温泉街を含む那須野ヶ原の歴史を知ることが出来るほか、バラエティ豊かな企画展も定期的で開催されています。



▲塩原のかたりべ



▲塩原もの語り館



▲那須野ヶ原博物館

インフォメーション (関連URL)

グルメ

塩原温泉 とて焼 一覧

<https://www.siobara.or.jp/gourmet/toteyaki/>



塩原温泉 スープ入り焼そば 一覧

<https://www.siobara.or.jp/gourmet/yakisoba/>



飲食店 (ALL) 一覧

<https://www.siobara.or.jp/gourmet/>



アクティビティ・観光

温泉とお宿

<https://www.siobara.or.jp/spa/>



滝・吊橋 一覧

<https://www.siobara.or.jp/waterfall/>



アウトドア・アクティビティ 一覧 (塩原温泉アウトドア関係者連絡協議会 加盟団体)

<https://shiobara-outdoor.com/member-organization/>



関連URL

環境省 日光国立公園ホームページ

<https://www.env.go.jp/park/nikko/>



塩原温泉ビジターセンター (TEL 0287-32-3050)

<https://www.siobara.or.jp/vc/>



一般社団法人 那須塩原市観光局 (TEL 0287-46-5326)

<https://nasushiobara-kanko.jp/>



特定非営利活動法人 塩原温泉観光協会 (TEL 0287-32-4000)

<https://www.siobara.or.jp/>



もっとしおばラブ!!

～塩原が面白くなるストーリー集～

塩原地域インタープリテーション全体計画



制作者

もっとしおばラブ!!
～塩原が面白くなるストーリー集～ 地域事務局

協力

塩原の近隣の皆様
公益社団法人 日本環境教育フォーラム
一般社団法人 日本インタープリテーション協会
環境省 日光国立公園管理事務所

イラスト

加藤 槇梨子 (トコトコかこ illustration&design)